

ほのか診察室

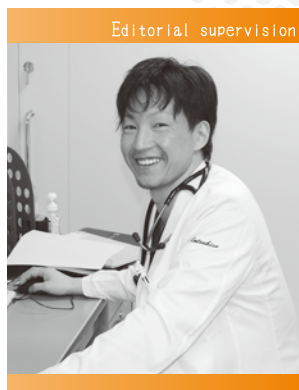
HONOKA Consultation room

シリーズ

第88話

感染性胃腸炎

ノロウイルスの感染力



市民病院
総合診療科医師
松久 貴晴
監修



を介する感染。もう一つは、人から人への感染です。ノロウイルスは感染者の嘔吐物や便に検出されます。看病の際、これらから人の手などを介して二次感染することが多いです。ノロウイルスは直径27nm〜37nmとほかのウイルスや細菌に比べて小さいウイルスで、手のしわなど小さな隙間に入りやすい性質を持っています。さらに、少ないウイルス量で感染できます。そのため、容易に伝播できてしまうのです。

ちなみに、ノロウイルスの名前は、米国オハイオ州ノーウォークの小学校で集団発生した急性胃腸炎の患者さんの便から検出したことに由来して「ノーウォークウイルス」と呼ばれていました。その後、2002年に行われた国際ウイルス命名委員会によって「ノロウイルス」という正式名称が決定されました。

り、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行う必要があります。下痢や嘔吐は、体の防御作用としてウイルスを体外に排出するだけでなく、体の機能維持に大切な体液を大量に排出してしまいます。ノロウイルスに感染したときは、脱水症の危険性をしっかりと認識しておく必要があります。

また、下痢止め薬は使用しないことが望ましいとされています。ウイルスが体外に排出されず、体の中にとどまってしまうため、症状が長期化する恐れがあるためです。

● 不顕性感染

ノロウイルスに感染して下痢症状などの症状がなくても、ウイルスを排出することがあります。これを「不顕性感染」と言います。無症状であっても、家族・同僚などに症状がある場合、自身も感染している可能性があります。特に食品を取り扱う方などは注意が必要です。調理前、食事前、トイレ後など手洗いをしっかりと、感染の拡大を防ぐことが大切です。

● のろくないノロウイルス

ノロウイルスはその名に似合わず、とても伝播（感染の広がり）が速い感染症です。感染経路は主に二つあり、一つはノロウイルスに汚染した食物や飲み物を摂取するなど、食物

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬場（11月〜2月）を中心に流行する原因ウイルスの一種です。ノロウイルスの主な症状は吐き気、嘔吐、下痢であり、腹痛がみられることもあります。さらに微熱、悪寒、頭痛を訴える人もいます。これらの症状は、1〜2日で自然に消滅することがほとんどで

す。症状が現れる期間は比較的短いですが、とても感染力が強いウイルスですので注意が必要です。

● 発症時の対処

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。そのため、通常は症状に合わせた対症療法を行います。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こした